

裾野市

児童・生徒・保護者向け

認知症サポーター養成講座

～出前講座のご案内～



◆「地域」で暮らす子供たちに学んでほしい講座です。



認知症サポーターとは、認知症を理解し、認知症の人や介護する家族を、出来る範囲で手助けする地域の応援者です。

認知症は歳を重ねると誰でもなりうる病気です。

子供たちには正しい知識と接し方を早い段階で習得してもらい、地域で暮らす認知症の方の理解者として、困っている方をサポートできる存在に育てたいと考えています。

- 対象 裾野市内の学校 小学1年生以上
(学級・学年単位、クラブ活動など)
- 日時 ご希望の日時に合わせて調整いたします
- 会場 学校にお伺いします
- 費用 無料
- 配布物 テキスト・サポーターカード
※申込みは、開催希望日の1か月前までをお願いいたします

講座の内容

- 認知症とはどのような病気なのか
- 認知症の症状はどのようなものか
- 認知症の人の気持ちや接し方
- サポーターが出来ること など



◆小・中学校の授業で実施する場合は、授業の1コマ(45分程度)で実施いたします。
SDGsやユニバーサルデザインに関する授業の一環としての実施もできます。

※受講された方にはサポーターカード(修了証)をお渡ししています↓



裾野市介護保険課
055-995-1821





♪ 受講した子どもたちの感想 ♪

～アンケートより～



❖何回も同じことを聞かれても、めんどくさがらずにいてねいに優しく教えてあげたいです。わすれないようにメモをつくったり色々と工夫をしてわかりやすくしたいです。こまっていたら、助けてあげたいです。心はいっしょだからおじいちゃん、おばあちゃんをきずつけないよう優しくせっしたいです。(小学5年生)



❖今までにんちしょうの人を前にすると、どうやってせっすればいいかわからなかったり、何回も同じことを聞かれると、(寸劇の中の)男の子みたいにいらつしてしまうことがあったので、にんちしょうのあいてのときのせっしかたなど、こんご、もしこまっていたらこえをかけたいと思いました。そしてにんちしょうの人は忘れっぽかったりするけど、みんなと心は同じ。心は今も昔もかわらないから、悲しかったり、楽しかったりうれしかったりなど、相手も自分もえがおになれるようなそんなことばがけをしたいと思いました。自分の知らないことや新たなことがいっぱいわかったのがよかったです。げきなどすごくおもしろくて、みてるこっちまで楽しくなりました。すごくいいいけけんができたのがよかったです。(小学5年生)



❖にんちしょうの人が周りにいたら助けてあげたりしたいです。あとにんちしょうの人はみんなと心はいっしょなんだなと思いました。自分だったら、にんちしょうの人にこまっている内容のことや絵をかいて、わたしてあげたいです。裾野市のキッズサポーターのめんきょみたいなのをもらったのでおさいふにいれたりしてもってみたいです。にんちしょうのことについておしえてくださり、ありがとうございます。(小学5年生)



❖春休みにおばあちゃん、おじいちゃんに会いに行くから、今日習った認知症の人の特徴や、もしおじいちゃんおばあちゃんが認知症になったら、やさしく助けてあげたいです。また、もしなっていたらこれ以上悪化しないように、おじいちゃんとおばあちゃんといっぱい遊んで笑顔になってもらいたいです。(小学5年生)



❖もっとにんちしょうについて知りたいなと思ったし、ゆっくり話を聞いてわかりやすくしゃべりたいです。難しかったけれどとても楽しむことができたので良かったです。(小学6年生)



❖認知症の人がもし近くにいて、たすけたり話しかけることがあったら、今日やったことを思い出して、話しかけたいと思いました。そして、どういう声かけをしたらいいかなども分かりました。(小学6年生)



❖わたしはおじいちゃんおばあちゃんがないけど、だれかが道にまよってこまっていたら、ゆっくりじょうをきいてたすけてあげたいです。心をきずつけないように気をつけて話したいです。認知症はもの忘れがあっても気持ちは同じなのがわかりました。ありがとうございます。(小学5年生)



❖私もいっしょにおじいちゃんおばあちゃんとすんでいるので、相手の気もちになったり、ポイントをわすれずに上手くサポートしたいです。(10才)



❖認知症のしょうじょうや、相手の気もちをげきや絵本で見て、おじいちゃんやおばあちゃんにやさしくし、きもちを分かってあげようと思いました。(10才)



❖ぼくのおばあちゃんが認知症になってしまいました。今日聞いたお話をいかしてやりたいです。(11才)

